

平成28年度
第1回朝日地域振興懇談会

会議録（概要）

期日：平成28年11月17日（木）

場所：鶴岡市朝日庁舎 大会議室

平成28年度 第1回 朝日地域振興懇談会会議録 (概要)

- 日 時 : 平成28年11月17日 (木) 9時30分から11時50分まで
- 会 場 : 鶴岡市朝日庁舎4階 大会議室
- 出席委員 : 敬称略・五十音順
伊藤弘光、伊藤文一、工藤悦夫、佐藤照子、佐藤宥男、帯刀とく子、
平形恭順、松本壽太、山口弘美、渡部巖、渡部順子
- 欠席委員 : 敬称略・五十音順
五十嵐英紀、井上時夫、渡部小枝
- 市側出席職員
【庁舎】朝日庁舎支所長、総務企画課長、市民福祉課長、産業課長、南部建設事務室主査
総務企画課総務地域振興専門員、総務企画課専門員
【本所】企画部政策企画課長補佐、政策企画課専門員、地域振興課長補佐

一次 第一

【委嘱状交付】

1. 開 会
2. あいさつ
3. 会長の選出
4. 協 議
 - (1) 鶴岡市総合計画実施計画の策定について
 - (2) その他
5. 報 告
 - (1) 公共交通対策
 - (2) 小さな拠点づくり推進事業
 - (3) かたくり温泉ぼんぼ
6. その他
7. 閉 会

1. 開 会 9時30分

総務企画課長

それでは、ただ今から、平成28年度第1回朝日地域振興懇談会を開会いたします。本日の進行を務めます、総務企画課長の工藤と申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、鶴岡市朝日庁舎支所長 佐藤利浩よりご挨拶申し上げます。

2. あいさつ

佐藤支所長

皆さま、おはようございます。

本日は第1回朝日地域振興懇談会の開催ということで、委員の皆さまには、冬支度などの大変お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

今年も早いもので、残すところ一か月余りとなりました。これから本格的な降雪のシーズンを迎えますが、気象庁の長期予報によりますと、平年同様というようなことですが、秋にはカメムシの発生が非常に多くみられ、朝日地域においては、大雪になるのではと心配されます。冬期間の除雪対策につきましては、当地域におきまして、大変大きな関心事であり、先月18日には、国土交通省で国道112号の除雪車出動式を行ったところであります。この10日には、大鳥地域、鱒淵地域で除雪車の初出動があったということで、これからは油断のできない時期と思っております。庁舎といたしましても、雪対策は、冬期間のもっとも重要なことであると認識しております。この冬も「事故の無い安全・安心な冬」となりますよう、国、県など各関係機関と連携を密にしながら万全の除雪体制で臨みたいと考えております。

また、11月4日の深夜に、松沢地内で建物火災が発生いたしました。物置1棟が全焼したものであり、他への延焼がなかったのが、せめてもの救いであります。被災者にお見舞い申し上げます。皆様におかれましては、これから暖房器具を使う季節になりますので、火の元には十分お気を付けいただきたいと思っております。

11月5日には、国が海外からの旅行者を農山漁村に呼び込むために創設した、「食と農の景勝地」に、全国で44申請があった中から鶴岡市が認定を受けました。これにより、ユネスコ食文化創造都市である、鶴岡市で体感する食と風土を世界に広げ、農林水産業や観光産業の活性化につなげるものであり、庁舎といたしましても、対応できる事業がないか考えていきたいと思っております。

さて、本日の懇談会でございますが、平成29年度から平成31年度までの「鶴岡市総合計画実施計画の策定」を協議していただくことになっております。内容については、企画部政策企画課から説明していただきますが、委員の皆さまからは地域目線に立ったご議論ご意見を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。なお、現在、財政課による29年度予算の査定も行われておりますが、29年度予算要求につきましても、一般財源マイナス3%シーリングということで対応していく考えでございます。予算措置については大変厳しいものがございますが、委員の皆さまからはいろいろなアイデアご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

3. 会長の選出

会長 佐藤照子委員

副会長 井上時夫委員 (佐藤照子副会長が会長に選出されたことに伴うもの)

○佐藤会長あいさつ

皆さまおはようございます。先程ご説明がありましたように会長不在となっております、この度大役をお引き受けすることとなりました。何分不慣れでございます。委員の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

4. 協 議

(1) 鶴岡市総合計画実施計画の策定について

資料1

説明： 政策企画課長補佐

○会長

はい、ありがとうございました。

ただ今、事務局から総合計画実施計画について説明がありました。時間の許す限り、皆さんからご意見をいただきたいと思えます。できれば、皆さんから一言ずつ声を出していただければと思います。これからの朝日地域の課題解決に向けて、ご意見やアイデアを出していただければありがたいと思えますので、どうぞよろしくお願い致します。

○委員

広分野、多岐にわたる詳細な説明があった訳ですが、何ヶ所か、少子高齢化という部分は出てきております。高齢者に対する文言はこの中に1、2行しか載っていないのではないかと思います。高齢化が避けて通れない状況下で、高齢者が自分の生きてきた知恵や技術や技能を社会に還元しながら、生き生きと健康で暮らす、健康寿命をいかに伸ばすかということが、高齢者にとっての1番の社会貢献だと思えます。子育て支援も当然必要ですが、団体の育成や、高齢者同士が知恵を出し合う場や、交流し合う場への支援があってもいいのではないのでしょうか。

○政策企画課長補佐

ご意見ありがとうございました。今回の資料は少子化、子育てに特化した掲載になっています。スペースの関係上抽出したこともあり、高齢者の部分が薄くなっていることは確かでございます。3月末までに最終的な実施計画としてまとめる際には、「高齢者の経験を活かした社会参加」と「就労の場の確保」といったことも計画の中に盛り込んでいく予定となっております。

○委員

例えば、これから介護保険制度の施設入所要件や在宅のあり方も変わってくるでしょう。そういった時に、地域でのケアの在り方といったことへも波及してくるだろうと思えます。それを全て社会福祉協議会や包括支援センターだけ、あるいは地域のコミュニティセンターだけの分野だとは言いきれないのではないかと思いますので、よろしくお願い致します。

○委員

24頁の保育所の保育料について、昨年ここでお話をいただいた「小学生以下3名」のところを「18歳未満3名」に拡充していただいたということでありありがとうございます。周りの若いご夫婦へ周知していきたいと思っております。朝日地域の小中学校は、今年度から1校ずつとなり、9

月に朝日庁舎へPTA要望書を提出させていただきました。子どもたちの登下校の安全について第一に考えており、先月あたりから、高齢者の交通事故がメディアに取り上げられることが非常に多く、また鶴岡警察署の話では熊の出没が非常に多い1年だったという話を伺いました。子どもたちの登下校中に起こったらという心配をしています。徒歩通学の児童生徒のバス通学の検討を、強くここで話させていただきたいと思います。

もう一点ですが、この場での発言が適切かわからないのですが、郊外地の中学校では子どもたちの数の減少により、教職員の数が減るのは仕方のないことなのですが、それに伴って、小学校から続けていたスポーツ、部活動を制限されてしまうという問題があります。難しい問題ですし、いろいろな組織が関わってくる問題だと思いますので、鶴岡市全体としてどのぐらい認識されていて、それに対してどのような対策を考えているのか、今後取り上げていただけたら嬉しいと思い、この場でお話させていただきます。

○政策企画課長補佐

部活動の件は、市全体のスポーツ振興や競技力の向上といった観点でしか現在は取り上げていないのが事実です。教職員の配置も含め、どういった方法がとれるのか、教育委員会と話をさせていただきたいと思います。

○委員

森林文化都市を目指してがんばっている訳ですが、特に特用林産物の補助事業については、資料のどの辺りに含まれるのか。どうなっているのか教えていただきたい。

○政策企画課長補佐

今回の資料には「特用林産物」という表現をしている箇所はございません。全体の冊子になるとときには、地域の農林水産物の振興や林業の振興、特用林産物も踏まえまして、地域全体の農業林業の振興を図るという記載をする予定となっています。個別の補助金は、年度ごとの取り組みをどう推進していくか、年度ごとの計画の立て方になっていくのかと思います。

○委員

地域おこし協力隊OBが引き続き大鳥に住んでおり、地域の特産としてナメコ栽培に力を入れ始めています。今年も原木の払い下げも終わり、間もなく来年の準備に入るようになっていますが、少しでも足しになるものがあれば、力になると思うのでよろしく願います。

○会長

資料6に特用林産物の補助金があるようですので、庁舎の方から願います。28年度までとなっていますので、29年度からも考えていただければと思います。

○産業課長

実施計画に記載が無いということでのご意見ございましたが、朝日地域振興計画の中には、基本方針(1)ー2として“山の恵み”産地化の推進ということで掲載しております。この方針に従って特用林産物生産振興事業の事業化をして参りました。現在の事業は、平成26年度からの3カ年で、

今年度が3年目となっています。住民懇談会でも何か所かで要望が上がっており、要望の大きな事業として受け止めておりますので、形を変えても継続していきたいと思っております。現行の購入に対する補助だけではなく、森林地域の環境保全や朝日地域の特産作物の振興、栽培技術の向上などを旨とした研修活動、産直施設の品揃えの確保など複合的な視点で事業を組み立て直し、これまで以上に特産林産物の生産振興を図るかたちで事業を計画し、予算要求をしていきたいと思っております。現時点では具体的にお示しはできませんので、ご理解をいただきたいと思っております。また、50%補助でありながら、予算の総枠の中で実質的30%補助になっている現状もございますので、その部分も含め要求していきたいと思っております。

○委員

高齢者へのアプローチがちょっと少ないのではないかと考えて拝見しましたが、素晴らしい計画だと思えます。ただし、計画書づくりの計画にならないよう、ぜひ協力すべきところは今後も協力していきたいと思えます。コミュニティビジネス推進をあげていますが、どのようなことが具体的に実施されているのか、考えられるのか、ぜひお聞きしたい。もう一点、今年度、東部地区が小さな拠点づくりのモデル地区となり、300万円の予算を投じてどのような成果があげられて、来年度、南部地区が該当になったらどうしたらいいものかと思ひ、その辺りもお聞きしたいと思えます。

○政策企画課長補佐

コミュニティビジネスは、地域ごとの特徴があると思えますが、例えば買い物サービス、送迎サービスといった地域ごとに合わせた小さいビジネスを、地域の課題や特徴を浮かび上げながら起こしていくといったイメージで考えております。

○総務企画課長

今年度から東部地区で取り組んでおり、検討委員会の開催、先進地視察など、かなり大変な作業になっております。11～12月に「地域デザイン」を策定するところで、来年度も東部地区については、かなり力を入れていかなければならないと考えているところです。南部地区につきましても、地域の盛り上がりは不可欠ですので、来年度は、地域の情勢の盛り上がり、機運を高めていける年になればいいのではと考えております。

○委員

東部地区で何回かワークショップを開催して、将来的なビジョンを描いているというところはお聞きしましたがけれども、実働部隊としての第1歩をいつ踏み出すのか、どんな形で踏み出すのか、話し合いをして「こんな大網地区になってくれたらいいな」と理想を掲げるのは誰でもできると思うのですが、第1歩の踏み出し方がなかなか見えてこないところに、ジレンマを感じております。南部地区で実施するとき、東部地区以上のものを事業として起こしていきたいと思うところがございます。

○委員

東部地区では、毎年10月に文化芸能祭りと大網学校同窓会があります。旧大網小の校舎の雪囲いの竹が春から残っていて、竹のしばり方がよくなかったり、縄が外れているところもあり、元教

職員や役員の方がいらして、みすぼらしい学校になったイメージを持った方もいたのではないかと、残念でなりません。

先程から高齢者の話が出ていますが、数日前、南銀座通りの一方通行を逆走してくる車がありました。やはり高齢者の自動車事故が多いので、運転免許証を返納したら何かサービスがあるのではないかと思います。かたくり温泉について後で報告があるようですが、何もかも撤去する、何もかも統合するでは旧朝日村はおもしろくなくなってしまいます。温水プールや足湯、卓球などの遊具で楽しむ場などでもできるのではないかと、なくさなくともという思いがあります。食堂や売店が無いところが一番おもしろくないとも思います。ここにシルクプロジェクトが載っていますが、自分は、山で採った桑の葉の粉末を販売しています。マッチングで声をかけてくれた方から、成分も表示した方がいいとアドバイスを受け、成分表示をして販売しています。頑張っていけないなと思いました。

○会長

3点ですが、大網小学校の管理の件、高齢者の運転マナーに対してどのように考えているか、かたくり温泉については後で説明があると思いますので、始めの2件についてお願いします。

○総務企画課長

旧大網小学校の管理は、教育委員会管理課が担当しております。雪囲いははずさない予定でしたが、ロープやタキロンは劣化して、春になると田んぼに飛んだり、人に当たったり危険なため、骨組みは残してタキロンははずしているものです。危険や見た目が悪いような箇所があれば、管理課に直接連絡するか、朝日庁舎総務企画課に連絡をいただければおつなぎしますので、よろしくお願いします。

○政策企画課長補佐

高齢者の免許に関しては、現在、市として対応は考えていないのが現状です。今後必要となってくることは充分認識していますので、担当課と話をしたいと思います。

○委員

先程から高齢者問題が出ていますが、豊富なのは高齢者の人材だと思っています。健康なあるいは魅力的なお年寄りも、過去はいっぱいいたと思います。最近あまり見かけなくなりましたが、自分もそういう年寄りになりたいなという目標を持ってきました。健康で生き生きしている高齢者は、若い方と同じ位に、市に与える影響も大きいと思いますし、決してマイナスだけではないということがわかるような施策をお願いできたらと思っています。

○会長

今のご意見は、高齢者が役立つ施策ということでよろしいでしょうか。事務局はどういうふうにお考えでしょうか。

○政策企画課長補佐

高齢者の経験を活かしていく社会にしていきたいと考えており、健康長寿の両面からいろいろな

施策を進めて参りたいと思います。

○委員

あさひ婦人の会では、今年度も花植え、草取りも順調に終わり、花も綺麗に咲いたようでした。これから少しの事業を残し、今年度も終わろうとしています。いろいろありがとうございました。

2点お聞きしたいのですが、朝日地域には月山ダムの奥の方に、とてもきれいな公園があります。何の行事もないし、どういう人が使ってどういう人が管理しているのかと思い、すごくもったいないと感じました。資料の中にある、月山ジオパーク推進協議会と関係あるのかわかりませんが、これからどのように活用していくのかというのが1点目です。過疎地域における集落活動、16頁の集落支援員は自治会長とは別に任命されるのか、この2点をお聞きします。

○南部建設事務室主査

月山ダムの奥の公園は田代多目的公園のことかと思えます。その手前にもノコトブナ公園があり、月山ダムの築造の際に原石山の跡地を公園整備したものです。南部建設事務室で維持管理のみ行っております。具体的な利活用についてはジオパーク構想もありますので、こういったものも含めて検討して参りたいと思います。維持管理については年2回の草刈り作業を委託しております。利用できる期間は5月の連休前あたりから雪が降るまでの期間で、年間の半分は雪に埋まっている状態であり、その辺りも課題になろうかと思われれます。

○総務企画課長

公園について付け足しですが、以前は総務企画課で管理をしていた公園で、草刈りや芝生管理をしながら、老人クラブの交通安全グランドゴルフ大会や森と水のコンサート等で活用していた場所でございます。集落支援員は、平成22年度から朝日庁舎総務企画課に1名配置しております。現在も継続しており、大鳥地区や大網地区の集落ビジョンの策定や、ビジョンに基づいた実践事業の実施を3年間にわたり支援しております。今年度は、大網地区の2集落で実践活動を実施しておりますし、また、小さな拠点づくり事業の取り組みへの支援等を行っております。さらに集落の見守りということで、集落の現状について調査研究を行っております。行沢については、集落に入って具体的なことはしておりませんが、状況変化、人口や戸数、集落の現状がどうなっているかといった分析を行っております。

○委員

資料6の最後の頁の上田沢診療所の極超短波治療器の購入は、どういった治療に使用するのか。

○市民福祉課長

極超短波治療器は電気です。高齢者の腰痛等の治療に使用しています。軽くてコンパクトで使いやすいものに更新したものです。

○委員

今、一番気がかりなことは、10年後の大泉地区がどうなっているだろうということです。3年後、5年後くらいまでは現状を守れるのではないかと考えていますが、10年後となると自信が無

い状態です。昨夜、寄り合いがあり、今日明日のことではなく、10年後をどうするか考えようという話をして、来年は、若い人も集めて「10年後をつくる会」をつくりたいと言ったら、皆協力するとなり、これをなんとかしたいと思っています。この地域をなんとかしようとしている人がまだかなりいますので、そういううちになんとかならないものかなと思っています。大泉地区は保育園も小学校もなくなり、バスもぼんぼもなくなるということで、どうなっていくのだろうと思っています。

産直グーはいい意味で老人施設になりつつあり、毎年、平均年齢が1歳ずつ上がっている状態です。80歳近い出荷者は、皆明るく元気に出荷してきます。グーに出荷して元気な老人を増やすというような、そういった方向でもっといい支援の仕方をお互いに考えていけたらと思っています。

○会長

グーのオープンから15年近く経っているので、生産者が15歳年をとっています。どの産直も、後継者問題が一番の問題としてあがっています。年をとっても生きがいを持って産直施設にキノコや山菜を出荷できれば、地域も生き活きしてくると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○産業課長

産直グーにつきましては、朝日地域の貴重な産直施設でもあり、農林業のみでなく、生きがいづくりにも大きく貢献していただいています。これまでもいろいろな事業を展開してお手伝いさせていただいていますが、朝日庁舎としても気持ちは皆様と同じでありますので、委員からも力強いご意見をいただきましたので、一緒に頑張っけて参りたいと思います。

○委員

高校入試で9教科を受験しました。1教科2教科だけ得意でも合格はしないと思います。バランスがよくないと合格できない。素敵な言葉で書かれている計画ですが、成果が出なければ失敗なのではないかと感じます。人口減対策も40年も前から言われてきたことであって、いくらお金を使っても成果が出ていない。世の中が根本的に変わっているのに、それにあらがって計画を作っているのではないかという気がします。人口減でも元気があり、活力があ、高齢者が多くいて、匠や知恵などを子どもたちに教えていく環境というものが、いい世の中なのではないかなと思います。先程10年計画という話がありましたけれども、10年先を見据えたしつかりとした目標、市役所職員が「今こういう方向に進んでいる、こういうふうにしていこう」ということを言い続けていかなければならないのではないかと思います。先程からの高齢者の匠や知恵などは、子どもと一緒に培われるものであると思いますし、当然、小中学校教育などが、末は大臣になるのか、プロスポーツマンになるのかという教育ばかりではなく、東京が一番ではないのだということに変わっていくのではないかという気がします。間もなく地震がきて全滅する可能性がある東京に、皆が行くのはおかしいのではないかと思います。自分のはがゆさとか悔しさ、力の無さを反省しながら、そういう素敵な計画であればいいと思っています。

○委員

一番危惧していることは、私の住む地域では「次の代は無いよ」とよく言われることです。私と

同年代の人は、子どもたちが東京、名古屋、大阪近辺に就職して、朝日に土地も建物もあるけれども、居住しているところでも給料もらってれば、長男でも戻って来ないし、自分たちもそれでもいいという人が多いのです。中山間地の小さい寺は廃寺になり、大きい寺に吸収されてやっっていくところもあります。一般家庭でも跡取りが帰って来ないことがありますし、もっと先取りした内容、充実したものがほしいですし、きれいごとばかり並んでいて素晴らしいと思いますが、中身を精査して実行力のあるものをもっと絞ってやるべきではないかと思います。

○政策企画課長補佐

確かに実行することが必要だと思っておりますし、どうしてもすべての分野を網羅しようと思うと総花的な部分が出てくるのですけれども、今後進めていく上では実行する部分、どこにポイントを当てて実行していくのかという、その辺を明確にしながら施策を進めて参りたいと思っております。また、次の総合計画を来年から作り始めますけれども、充分反映させていきたいと思っております。

○会長

ありがとうございます。これで皆さんからご意見頂戴しましたが、追加でもう一言という方はいらっしゃいましたら。

○委員

第1点は、地域コミュニティセンターの設置ということで、当地域におきましても27年度から3つのコミュニティセンターが発足しました。その中には地域の芸術文化はもちろんのこと、人々の学びの場、福祉の場、いろいろなことを語り合う、そういう場として地域の行政の一部も担っている部分があり、地域で創造的な活動をしてくださいという名のもとに、行政から委託されて発足した訳ですが、その3館に対する評価はどのようされているか、お尋ねしたい。

○総務企画課長

コミュニティセンターが発足して約1年半となり、比較的良好に活動を行っていると感じております。ただ、防災と福祉に関してはまだ手が回っていない、従来の社会教育事業の継続、地域づくりの活動については実施しているという評価をしております。南部コミセンでは、昨年「伝統食をつなぐ会」の実施、今年度は「長寿社会ソフトづくり」国の補助事業ですが、世代間交流事業として大平地域でのスノーランド事業を計画しております。地域住民と共に地域コミュニティ活性化の一端を担っていただいていると考えております。東部では、「小さな拠点」づくりに取り組んでおり、地域住民と大網地区の将来的な地域づくりについて、先進地視察やワークショップなどの活動しております。現在、社会実験として地域内交通の事業に取り組んでおります。中央コミセンは、事務局長が不在ということもあり厳しい状況ではありますが、施設の管理運営、朝日いきいき大学の運営等、朝日地域の中心として役割を担っていただいております。市職員が担当していた業務も多く引き継いでおり、庁舎の職員と連携を取りながら進めているところでございます。朝日庁舎としましても3つのコミセンと連携を取りながら支援していきたいと思っております。

○委員

中央コミセンの場合、春先から局長が不在ということで、大なり小なり事業には支障をきたしているのは事実だと思います。地域で自主的にということではありますが、行政のこれだけの大きな事業を3館に委託した訳ですから、支援や手立てを強力にやっていく義務があるのではないのでしょうか。地域の創造性を活かしていけるよう、ぜひご指導をお願いしたい。地域住民として強く思っております。

全体的なことですが、朝日はへき地です。1世帯でもあれば遠くとも下水道も除雪も必要です。費用対効果だけでは必ずしも線引きのできない、住宅密集地とは比較できない部分がたくさんあります。どこでも必要な一般財源で対応できるものは事業に充てないで、朝日特有の財源、過疎などを、地域の費用対効果で無い部分に充分充当できるように財源の配分をお願いしたい。その中で住民は何ができるかということ、私たちも考えていかなければならない。計画の段階でこのように議論させていただくことは大変ありがたいが、無くするときも住民の力を発揮できる場面があるのではないかと思いますので、チェックとアクションの部分も住民に問いかけていく、市全体のそういう姿が望ましいのではないかと考えております。

もう1点は、いつも説明を聴いて終わるだけではなく、場合によっては議論することも必要と、前々から時間の配分ことは言っていました。10年後の朝日地域はどうなるのか、倉沢は、大網はどうなるのか、中心地域はどうなるのか、答えはだせないかもしれません。しかし、ビジョンをお互いに持ち、それに向かっていこうではないかというような一致だけでも確認し、小さいながらもできることはあるのではないかと思いますので、今後の課題にさせていただきたいと思います。

(2) その他

○会長

ありがとうございました。最後に時間がもう少し欲しいという言葉がございました。この後2月に予定されていますが、もう一度検討していただけたらと思います。それではよろしいでしょうか。(2)のその他に移ります。皆さんから何かございませんか。事務局からはいかがでしょうか。

○総務企画課長

先程、地域の将来についてどうなるのかといった話がございましたが、資料1の11頁に地区担当職員制度がございます。5年後10年後の地域のあり方といったことについて話し合いの場があるとすれば、ぜひ、地区担当職員もお呼びいただければと考えております。倉沢だけなのか大泉地区全体になるのかわかりませんが、大泉地区全体となればコミセンも含め、一緒になって考えていけるのではないかと思います。地区担当職員の活用をご検討願えればと思います。

○会長

ありがとうございました。皆さんから一通りご意見をいただいたところでございます。それぞれのお立場から、貴重なご意見をいただきました。実施計画に十分に活かしていただきたいと思います。では以上で、協議を終了いたします。ありがとうございました。進行を事務局にお渡しします。

5. 報告

(1) 公共交通対策

資料2

説明：総務企画課 小野寺

(2) 小さな拠点づくり推進事業

資料3

説明：総務企画課 吉野

(3) かたくり温泉ぼんぼ

資料4

説明：市民福祉課長

○委員

お湯の処理に経費がかかることを初めて知ったのですが、資料1の9頁に温泉地や宿坊の魅力向上とあり、このような支援が何かできないのかなと思っていました。今の説明を聴いて理解しましたが、無くなるのは残念なので何か利用方法があればと思います。

○委員

民間にも声掛けをしていると前に聞いたが、全然希望はないのか。

○市民福祉課長

浴場としての施設を希望するところはありません。

6. その他

事務局から連絡

- ・次回開催予定 第2回懇談会 来年2月開催予定
- ・マイナンバー報告のお願い

7. 閉会